

子どもが考える理想的な未来 の海に関するビジョンと アクションプラン

2025年2月

概要

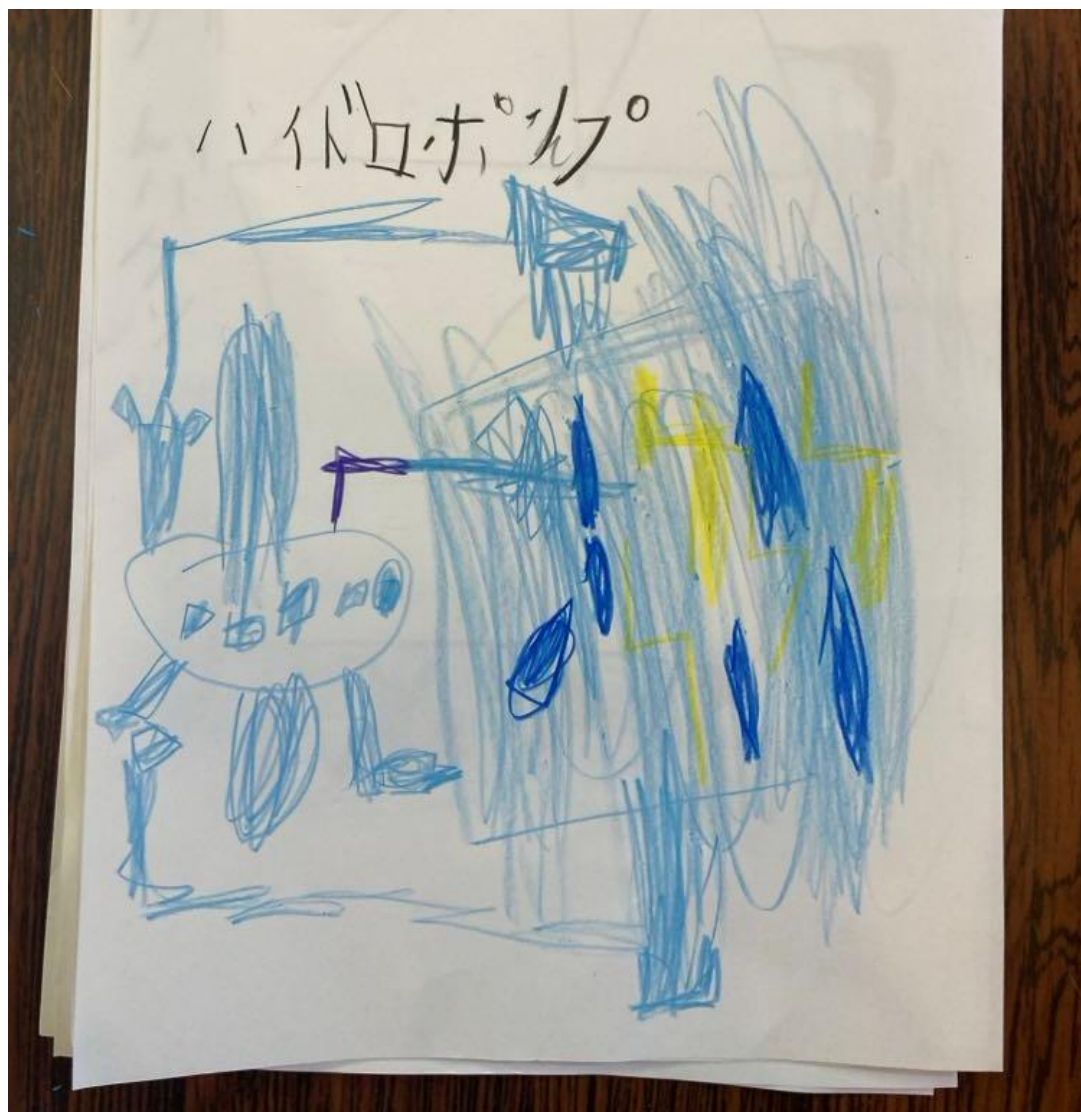
- 海のこと主体的に考え、大きすぎる課題であっても未来に向かって小さくても着実な一歩を踏み出す小学生向けのワークショップを実施しました。
- 海を考える切り口とアプローチは数多くあるため、今回はアイディアを発散させやすいように、「未来の海は絶対にこうなってほしくない」という課題についてイメージを膨らませた上で、その一方で「理想的な未来の海」を考えることとしました。
- 理想的な未来の海を実現するためのアプローチも多くあり過ぎるため、実現するための未来の道具をイメージした上で、自分がとるアクションについて考えるというプロセスをとりました。
- 子どもが考える理想的な未来の海に関するビジョンとアクションプランを参加した子どもたちの絵とともにまとめました。



理想的な海の状態：
汚れていないきれいな海

実現できる未来の道具：
ゴミを拾い続けることができる4次元バケツ

そのために明日からできること：
まずは海岸に行ってどんな海ゴミが落ちているか観察
します。



理想的な海の状態：

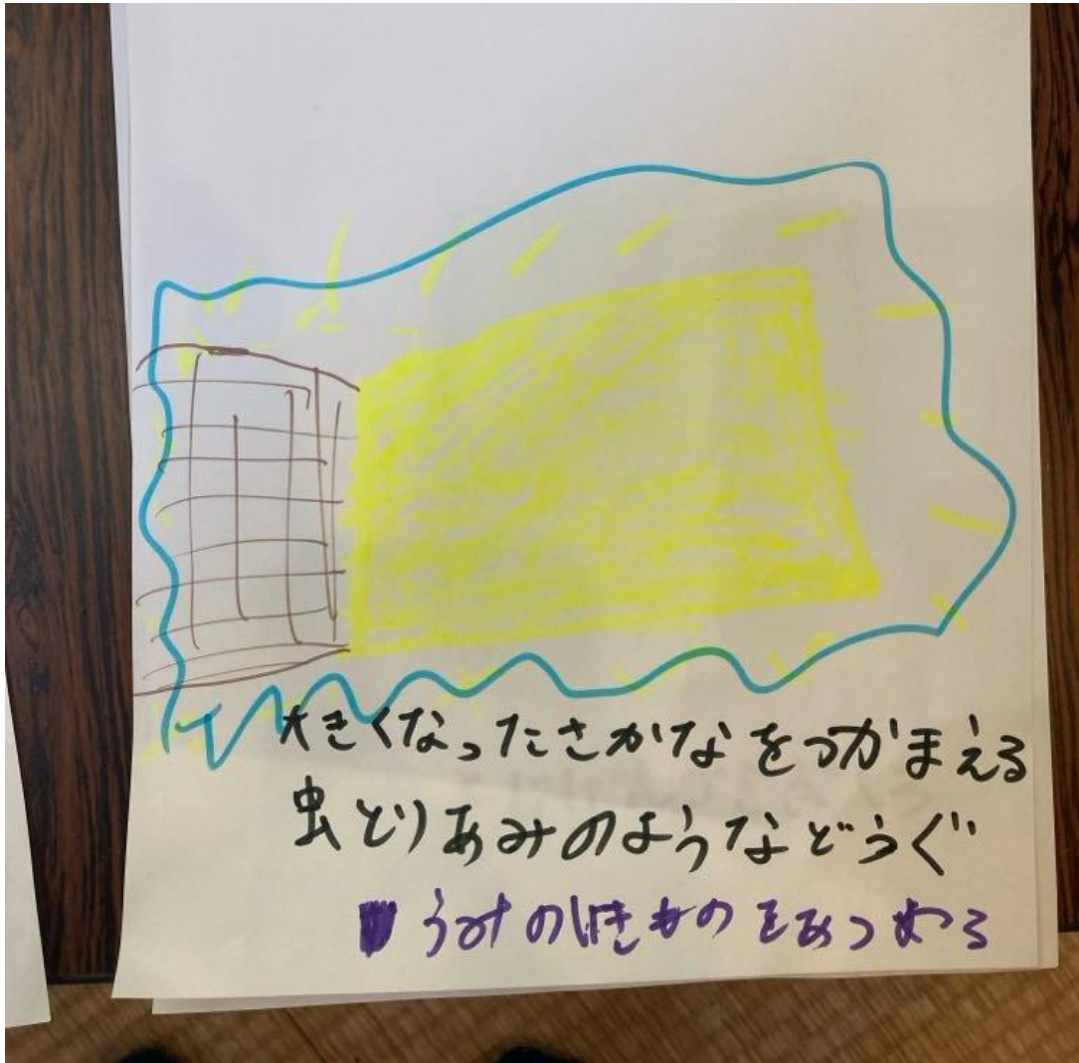
海底にヘドロがたまっていないきれいな海

実現できる未来の道具：

海底のヘドロを浮き上がらせることができるハイドロポンプ

そのために明日からできること：

海にたまっているヘドロがどんなものかを見に行くために干潮時に港湾の海底を観察します。



理想的な海の状態：

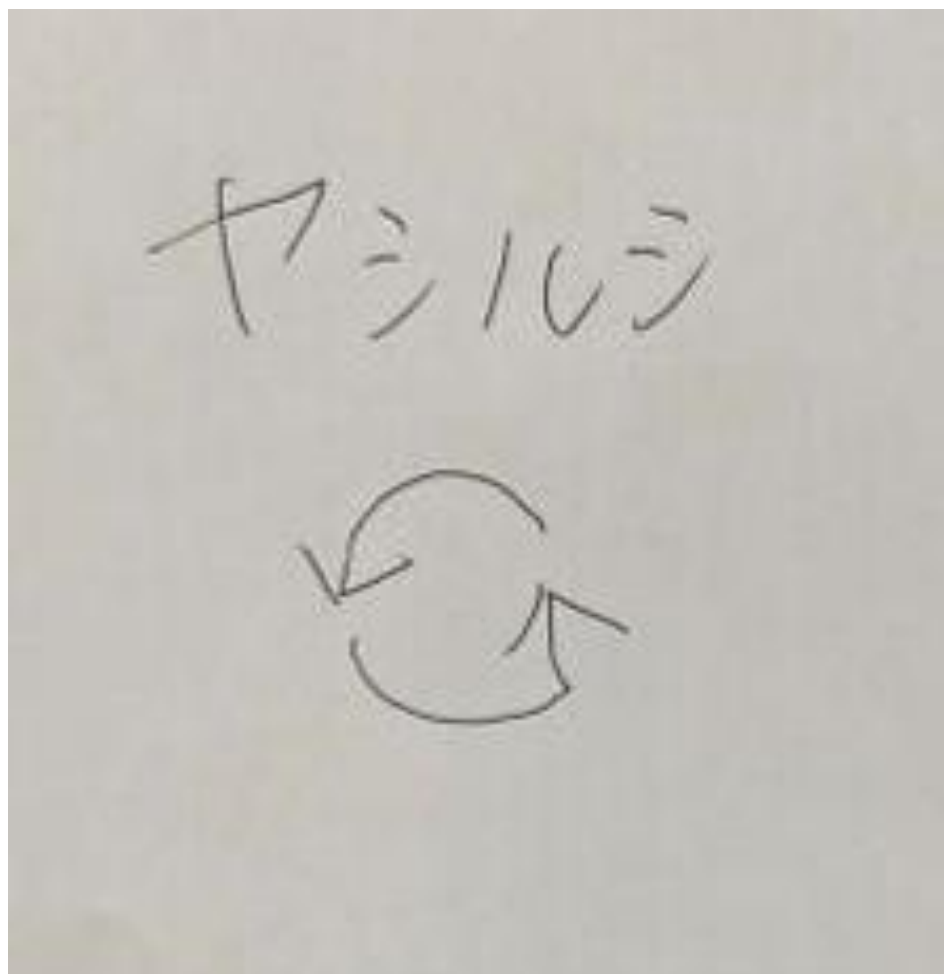
特定の生き物だけが増えすぎず、多くの種類の生き物が共存している海

実現できる未来の道具：

十分に大きくなった海の生き物だけを集める網

そのために明日からできること：

地域の海の魚や海の生き物の大きさを調べます。



理想的な海の状態：

ある生き物にとってはゴミに見えるものでも別の生き物にとってはご飯になっていることもあるので、その循環がすごい早さで行なわれている海

実現できる未来の道具：

かざすことで循環が促進されるマーク

そのために明日からできること：

人間にとってのゴミ（うんこ）を他の生物がどのように食べるのかを調べます。



理想的な海の状態：
ゴミのないキレイな海

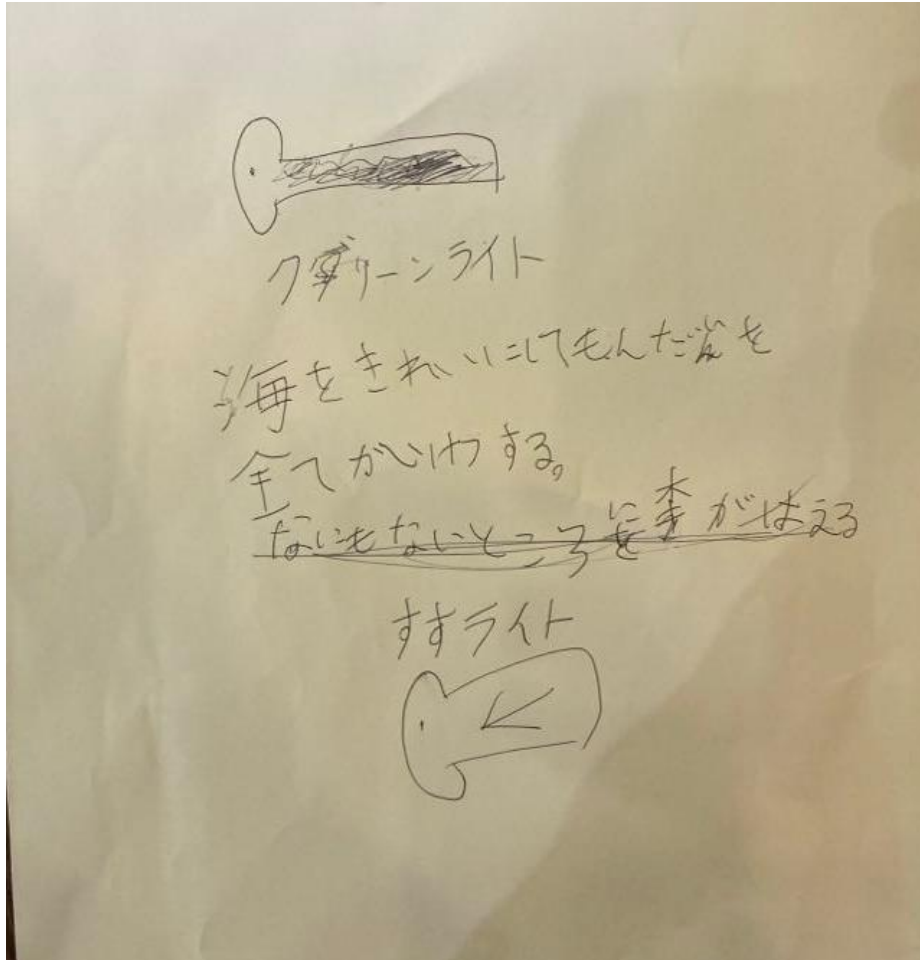
実現できる未来の道具：
津波や豪雨の時に崩壊した家などの大きなものが海に流されてゴミになっているようなので、災害時には空を飛んですぐに駆け付けて大きなものを小さくするマシン

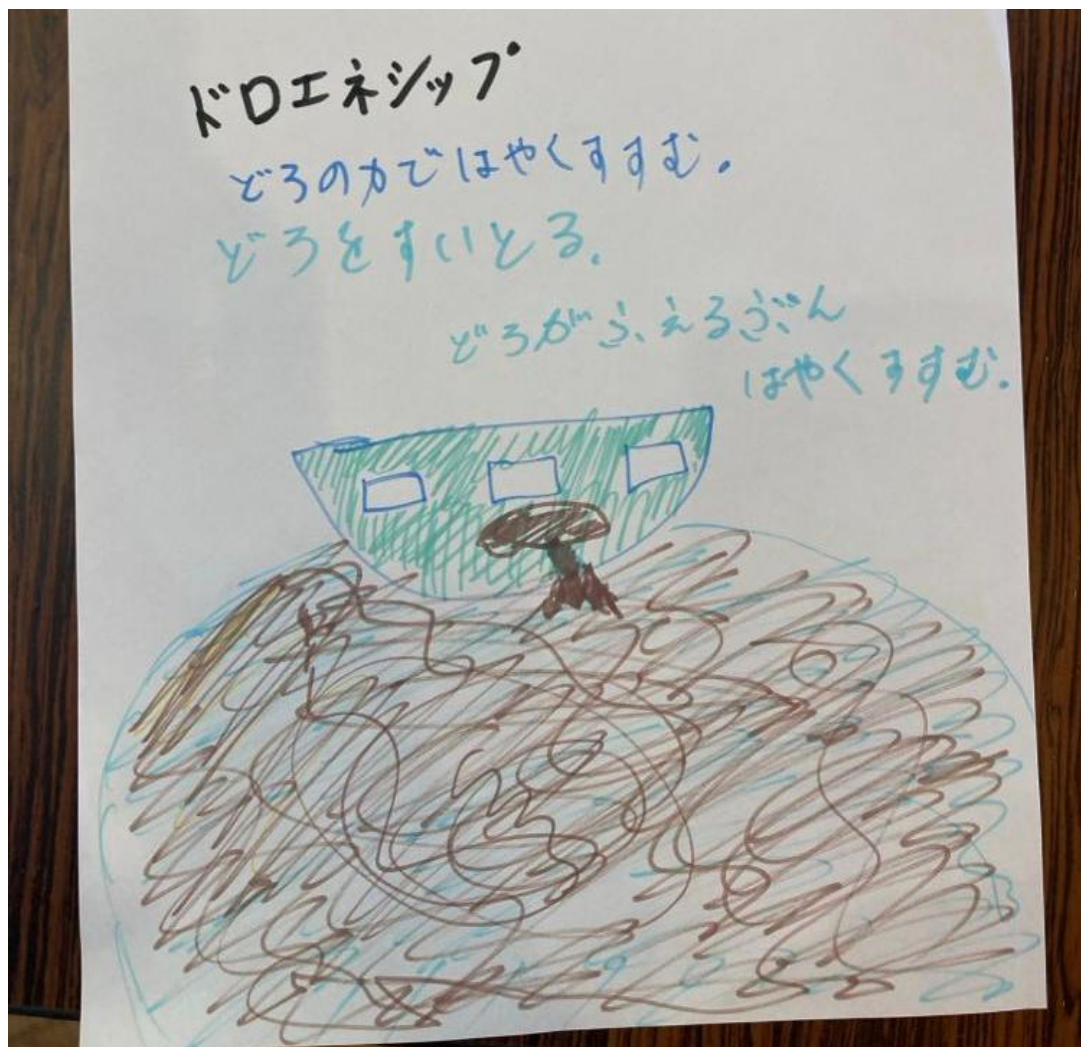
そのために明日からできること：
豪雨の時に自分の家のものが飛んで行ってゴミにならないように確認する

理想的な海の状態：
問題のないクリーンな海

実現できる未来の道具：
光を当てることで海の問題を全て解決するライト

そのために明日からできること：
具体的に海にはどのような問題があるのかを調べます。





理想的な海の状態：

海底のヘドロがないきれいな海

実現できる未来の道具：

海底のヘドロを吸い上げて船の推進力に変換することができる船。ヘドロが多ければ多いほど早く進むことができる。

そのために明日からできること：

汚泥からメタンガスを抽出する発電があると聞いたので調べます。